

「『外国人住民基本法』 の制定を求める 全国レ-集会2022」

題 : 「移住労働者の現状と展望」

講師 : 鳥井一平さん

(とりいっぺい。特定非営利活動法人移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)代表理事。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で話題! アメリカ国務省から「人身売買と闘うヒーロー」として表彰された外国人労働者問題のスペシャリスト。)

いま日本に暮らす外国籍住民は300万人以上、外国にルーツをもつ日本国籍者は推計で170万人。わたくしたちはすでに「移民社会」を生きています。

外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)は、1980年代以降の外国人登録法改正運動を背景に、外国人を管理・抑圧する「外国人登録法」や「出入国管理及び難民認定法」の抜本的改正と、日本人も外国人もすべての人たちが日本国籍や在留資格の有無にかかわらず住みやすい社会となるために必要な「外国人住民基本法」の制定を求めています。

日時 : 2022年10月23日(日)15時~17時

場所 : 西南KCC(在日大韓基督教会小倉教会) 駐車20台可
北九州市小倉北区大田町14-31

電話・Fax093-521-7271

問い合わせ先 : 川本(090-4349-1953) 朱(090-2516-5169)

基調報告/川本良明さん(日本基督教団隠退牧師)

在日証言/李圭哲さん(在日2世。在日大韓・折尾教会所属)

主催 : 九州・山口外キ連

(外国人住民との共生を実現する九州・山口キリスト者連絡協議会)